

7.4.南部エリアのまちづくり構想

（１）エリアの概況

①エリア特性

エリアの構成

- 南部エリアは、金御岳やエリア東部に広がる鰐塚山系の麓に位置し、日南市、串間市、鹿児島県曾於市、志布志市と接している。6つのエリアの中で最も人口が少ない。
- 空間構成
萩原川から南の鰐塚山系を含む広大なエリアで、田園から丘陵・山岳空間を含む変化に富んだ景観をもつ。また安久川・梅北川をはじめとした河川空間やため池も多く存在するなど、水とみどりあふれる空間構成となっている。
- 歴史
平安期に島津荘が開かれた時の治所があり、鎌倉期にかけて数多くの寺社が建立された。この時代を偲ばせるものとして、正応寺跡、西生寺跡、堀之内御所跡、黒尾神社（旧神柱宮）があり、都城東環状線沿線に多く歴史資源が残る。

人口・・・人口減少や高齢化が顕著

<現状>

- 人口は約0.9万人（平成27年現在）で、平成22年と比較して1.7%の微減。
- 高齢化率は36.0%で、市平均と比べて高齢化が進行しているエリアである。

<将来>

- 人口は約0.6万人（令和22年推計）で、今後も人口減少が進むものと予想される。
- 高齢化率は41.1%（令和22年推計）で、今後も高齢化が進むものと見込まれる。

産業・・・農業が基幹産業／新たなビジネスの芽生えも…

- 農業に特化する産業構造であるが、都城東環状線沿い一帯の低地部で遊休農地が多い。
- 地域コミュニティ活動と農業が連動した新たなビジネスが芽生えている。

暮らし・・・地域コミュニティ活動が盛ん／買い物、医療などの身近なサービスは、中央エリアに依存傾向

- 正応寺地区では、NPO法人などが中心となり、創意工夫ある地域コミュニティ活動に取り組んでいる。
- スーパー、コンビニ、病院、公共施設など日常生活サービス水準は市平均以下であり、中央エリアで日常生活サービス機能を補っている。
- 北西部において公共交通不便地区が多い。
- 都城東環状線以南は救急車到達10分圏外となっている。
- 用途地域は未指定。
- 中央エリアへアクセスする国道222号、269号沿い及び都城東環状線沿いでの開発が見られる。

資源・・・優れた水環境が残り、鰐塚山系を含む田園景観が美しく歴史を感じさせる

- 大淀川の源流や安久川、梅北川、安楽川などの清流が流れ、池平池、長谷谷池、斧研池、上高池など多くのため池や湯屋谷の滝が存在。
- 都城市街地を一望できる金御岳は、ハングライダーやパラグライダーが盛んで、また10月に飛来するサシバ（絶滅危惧種）の渡りのコースである。
- 数多くの名所・史跡が点在。
- エリアの中央部や大淀川水系沿いの低平地には肥沃な優良農地が広がる。
- 霧島眺望の中景をなす河岸段丘緑地帯。

②エリア意向（市民意識調査結果）

満足度が低く、重要度の高い改善・見直しが必要な主な施策は下記のとおりとなっている。

[策定時 平成 20 年 1 月]

「雇用の場の確保」
「安心して歩ける道路」
「交通安全対策」
「地域の防犯対策」
「水のきれいさ・水環境」

[中間見直し時 令和元年 12 月]

「雇用の場の確保」
「安心して歩ける道路」
「交通安全対策」
「地域の防犯対策」
「公共交通の利便性」
「生活道路の整備」



③エリアの位置づけ

- 広大な農地を背景とした農林畜産業が盛んで、ホタル・ドジョウなどが生息できる豊かな水環境と共生するエリア
- 金御岳が育んだ山岳景観・自然と点在する地域資源を活かした交流レクリエーションエリア



▲金御岳からの眺望

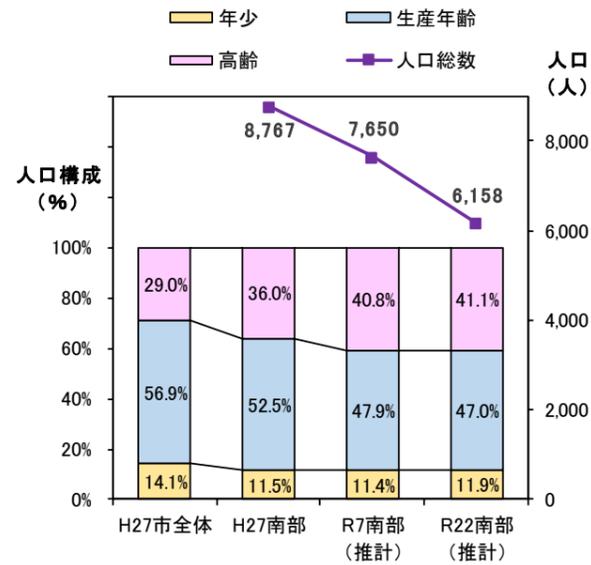
地域カルテ【南部エリア】

[地域の位置と概要]

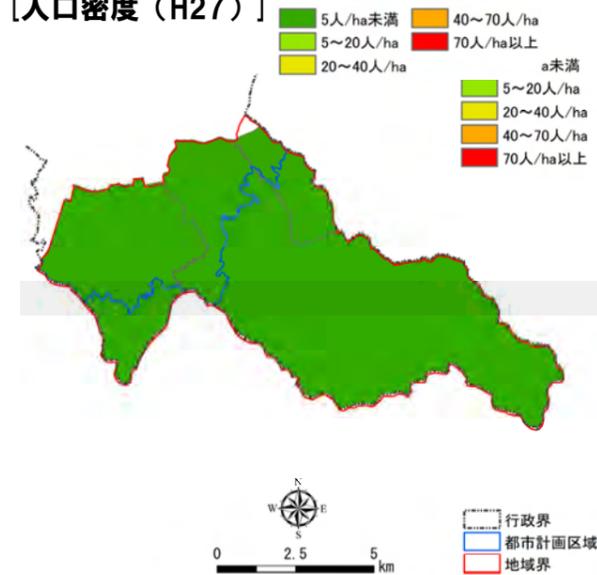


面積：7,574ha
用途地域：0ha
人口(H27)：8,767人
世帯数(H27)：3,523世帯

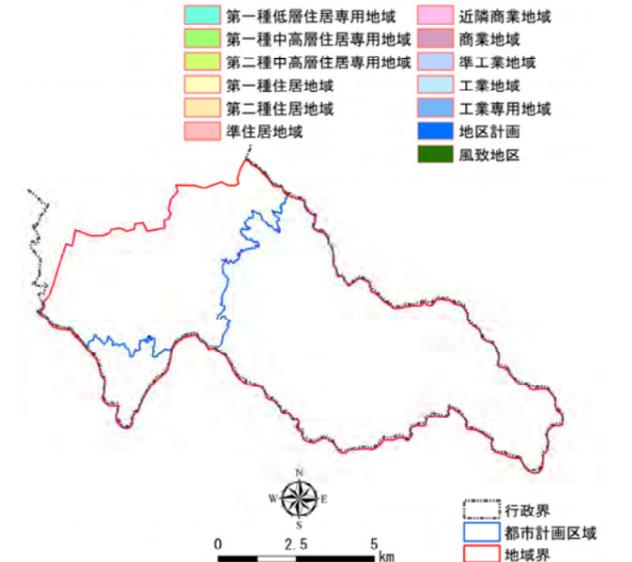
[人口推移及び年齢3区分別人口構成]



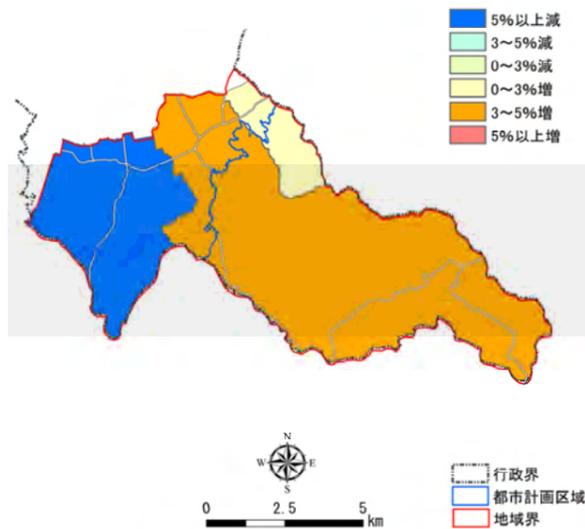
[人口密度(H27)]



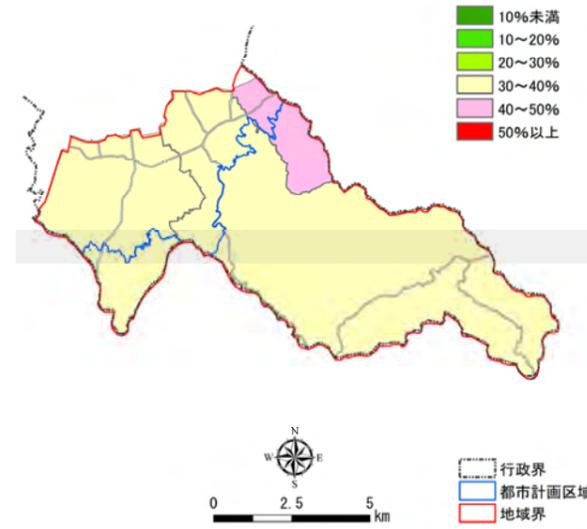
[法適用状況]



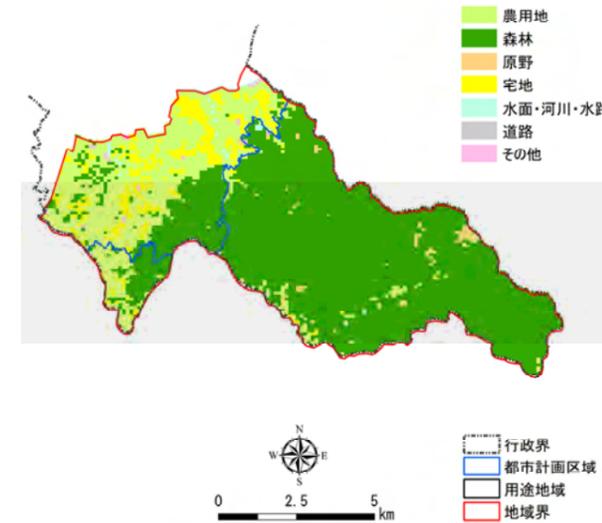
[人口増減率(H27/H22)]



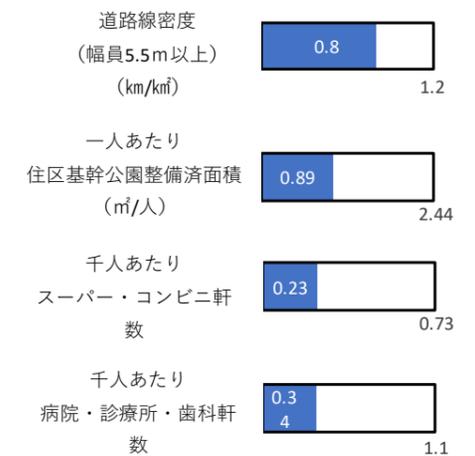
[高齢化率(H27)]



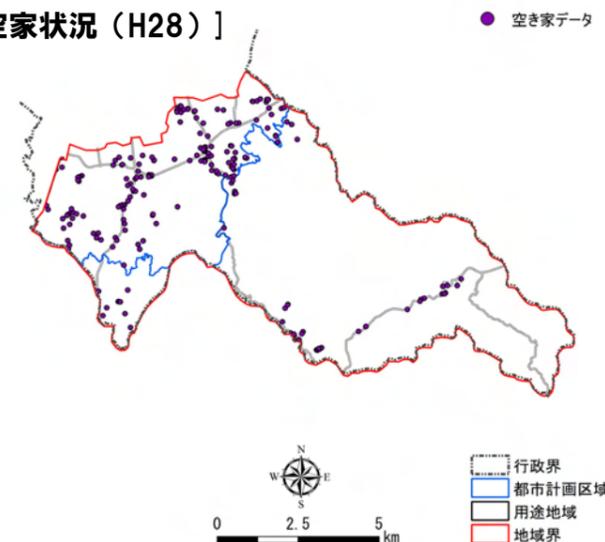
[土地利用]



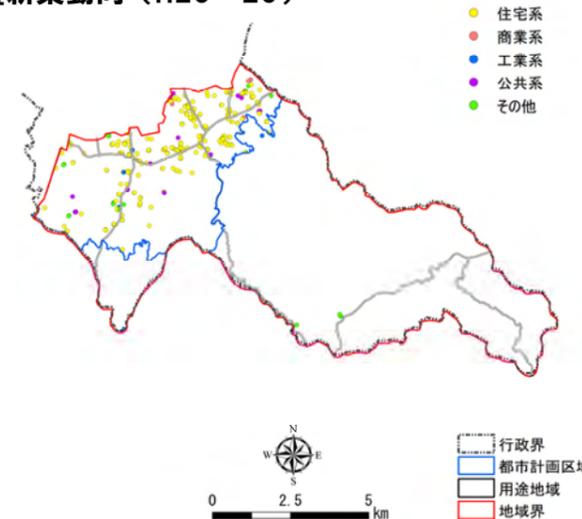
[施設整備水準]



[空家状況(H28)]



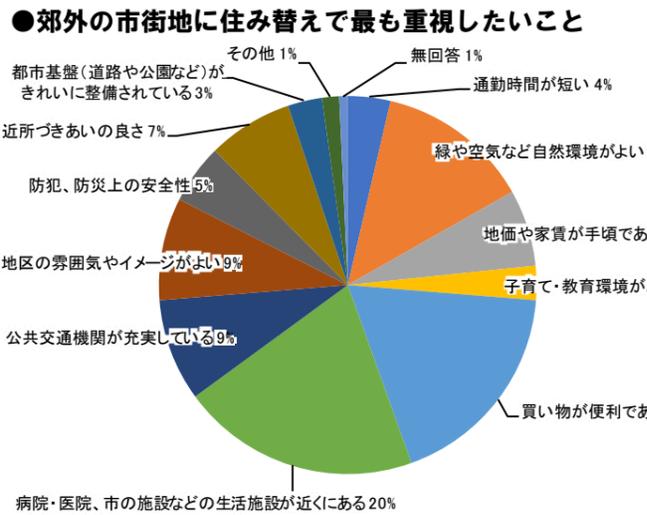
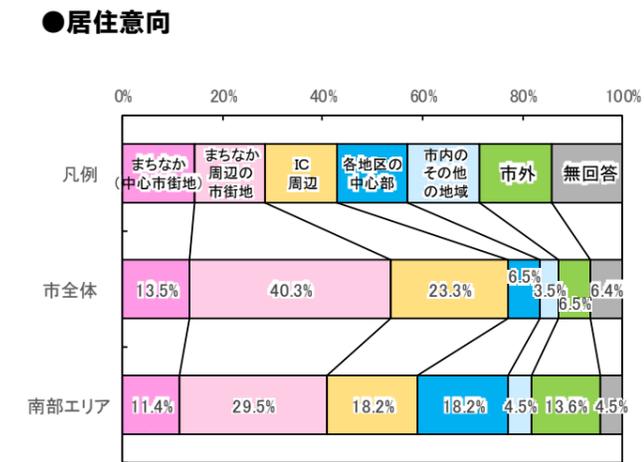
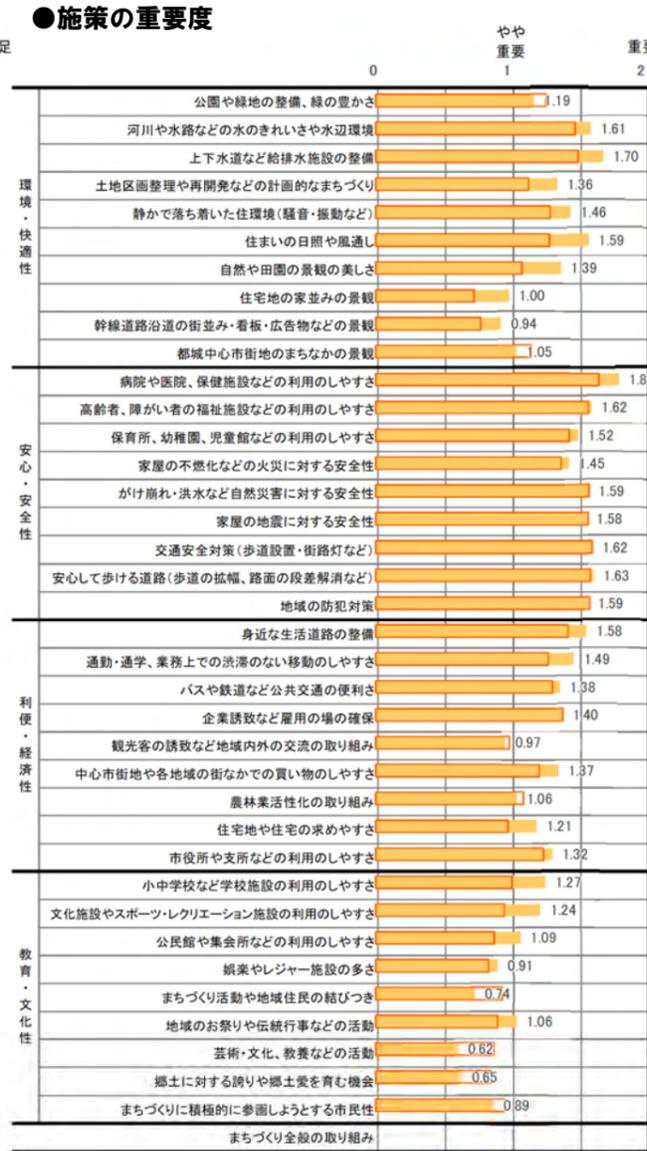
[新築動向(H23~29)]



[地域の資源]

自然歴史	<ul style="list-style-type: none"> 鰐塚山系(金御岳)、安久川、梅北川、湯屋谷の滝、ため池(池平池、長谷谷池、斧研池、上高池)など 島津荘に関連した数多くの名所・史跡、正応寺跡、興玉神社内神殿(宮崎県に現存する最古の建造物)、黒尾神社、二俣橋(石橋)
まちなみ・景観	<ul style="list-style-type: none"> 都城東環状線、国道222号沿線の田園景観、萩原川の河川景観 尾平野の棚田、雄児石の早馬神社を中心とした集落景観、市街地を見渡せる眺望ポイント(金御岳、蔦ヶ丘林道、天ヶ峯林道、六ヶ村城展望台など)
公共的施設	<ul style="list-style-type: none"> 梅北運動公園、金御岳公園 農家伝承の家、正応寺ふる里館

[市民意向]



[施設分布図]



（２）まちづくりの主要課題

著しい人口の減少と高齢化が見込まれ活力の低下が懸念される本エリアは、病院・買い物など日常的な暮らしを支える機能が市域の中でも特に低く、中央エリアへの日常生活サービス依存が高いエリアです。よって、日常生活サービスの維持を図るとともに、中央エリアへのアクセス性の確保が重要となります。

さらに、人とのつながり・産業・歴史・水資源・田園などの地域資源を活かしてエリア活性化を図り、住み続けられるまちづくりを進める必要があります。

①地域コミュニティ活動と連携したエリアの活性化

『視点：安全・安心／移動／住まい』

身近なサービス施設は都城東環状線沿いに分散し、集積度も他エリアに比べ脆弱です。丘陵部に広がる山間集落の暮らしを支えるために、地域生活拠点地区におけるサービス機能の維持とそれを補完する中央エリアへのアクセス性の確保が重要となります。

本エリアでは、地域に根ざした活動団体が中心となって、農産品の流通、高齢者・子育て支援、沿道や河川の美化活動、植樹、交通安全運動など身近な活動が活発に行われています。こうした人とのつながりを感じられるコミュニティ活動の支援を行うことによって、このエリアの魅力を高めることが大切です。

このように、住民の結束力を活かした居住環境や生活利便の向上、コミュニティ活動と連携したエリアの活性化が課題といえます。

②水とみどりと歴史のネットワークによる田園空間の保全と活用

『視点：にぎわい・活力／環境・循環』

安久川や梅北川といった清流、萩原川の河川空間、多くのため池、良好な眺望を有する金御岳などの自然や正応寺跡、興玉神社などの名所・史跡があります。こうした優れた地域資源を結び、のどかな田園居住地をつくることでエリアの個性化を図るとともに次世代にも継承していくことが重要です。

まちの課題図

農地 田園集落

【農地、田園集落】

- ・農地の虫食いの開発【環】【産】
- ・良好な田園空間・集落空間の喪失【環】【産】
- ・田園集落地区の人口減少【住】
- ・単身高齢者の増加への懸念【住】
- ・空き家の増加への懸念【極】
- ・農業の担い手不足・高齢化【産】
- ・遊休農地の増加（特に北西部に集中）【産】【住】

河川 ため池

・河川環境の悪化【環】

・河川、水路、ため池の管理低下への懸念【環】

【霧島南部地区広域農道】

・バイクによる深夜の騒音【住】

・災害危険区域の存在【住】

・公共交通サービス水準の低下【極】

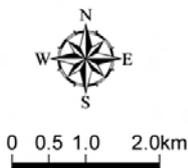
【金御岳】

・都城らしさを醸し出す特色ある眺望景観の保全【環】

【森林】

- ・貴重な動植物生息環境の劣化【環】
- ・林業の衰退【産】

- 行政界
- 都市計画区域
- 用途地域
- 地域界
- 地区市民センター
- 国道・県道



（3）エリアのまちづくり方針

①エリアの将来像



②まちづくりの基本目標

1) 暮らしを支えるサービス機能の維持と地域コミュニティ活動との連携

身近な日常生活サービス機能を担う安久～梅北周辺では、豊かな自然環境との調和を図りながら、魅力と活力のある地域生活拠点の形成をめざします。

身近な医療福祉や文化・レクリエーション機能を維持し、地域社会の交流・連携を促進しながら、人にやさしい親しみあるエリアの形成をめざします。

特に正応寺地区については、住民による農業を主体としたまちづくりに取り組んでいます。こうした新たな流れと連携して、都城ブランドの創出や新規・後継農業従事者が農業に取り組むことのできる場の提供に努めます。

2) 自然と歴史を活かした住みよい田園まちづくり

本エリアでは、里山、ため池などの自然環境や、興玉神社、黒尾神社などの歴史資源が豊富です。これらの地域資源を保全し、連携を図ることで魅力ある田園まちづくりをめざします。さらに、住民が安全・安心な生活ができるように防災機能の確保に努めます。

③まちづくりで重視すべき視点

【極】生活拠点の維持と円滑な移動の確保

【日常生活サービス地の機能維持】

中郷中学校周辺は、地域社会をけん引する地域生活拠点として教育、集会、福祉、行政など既存の機能を維持します。

また、都城東環状線及び国道 222 号・269 号の幹線道路沿いにある身近な日常生活サービス機能の確保に努めます。

【安全・安心な道路交通ネットワークの構築】

人口減少、高齢化が著しい集落地区の生活利便性を維持するため、民間事業者と連携した地域レベルの基幹公共交通サービスや宅配サービスなどを検討します。

さらに、まちなかの日常生活サービス機能を楽しむために、中央エリアへのアクセス性の向上をめざします。

【環】水・みどり・歴史など地域資源の保護と魅力の強化

【豊かな自然、歴史文化資源の保全】

本市のシンボルでもある金御岳は、優れた眺望を有し、バードウォッチングやスカイスポーツが行われるなど本エリアの貴重な自然景勝地として保全に努めます。

また、安久川、梅北川などの清流、ため池、湯屋谷の滝など良好な水環境の保全を図ります。さらに、地域に数多く点在する歴史文化資源の保存及びネットワーク化、案内誘導、定期的な美化活動などを行いながら、エリア内の貴重な資源の保全・活用に努めます。

【産】田園空間、歴史、産業の連携強化

【農地、里地・里山の適切な維持管理】

本エリアの基幹産業を支える優良農地を保全するため、虫食いの開発を抑制します。

また集落地周辺の身近な里地・里山について、地域主体で適切な維持管理を促進します。

【田園空間を活かしたまちづくりの展開】

石積み水路や農家伝承の家の復元、散策道路や親水公園の整備、柿が実る風景の復元など、正応寺地区で完了した田園空間整備事業を活用し、エリアの活性化に結びつけていきます。

さらに、都市住民や観光で訪れる人々を対象に、グリーンツーリズムや農業体験（6次産業）を積極的に展開し、農業を主体とした地域コミュニティ活動や観光資源の案内などの PR 活動の活性化に結びつけていきます。

【住】多様なライフスタイルと産業活動が調和した居住環境の形成

【周辺環境と調和した田園居住地の形成】

農業に従事する住民の定住基盤として、また、ゆったりとした暮らしを楽しめる場として豊かな自然環境と調和したゆとりある田園居住を営める土地利用の推進を図ります。

また、地域住民との連携のもと、空き家・空き地等の発生を抑制する仕組みづくりや利活用について検討するとともに、居住誘導区域内の空き家活用の推進や田園集落ゾーンにおける農地付き空き家の利活用推進等を図ります。

【良好な集落環境の形成】

田園や山間の集落地では、一団となった集落林の保全、集落間と新規住宅地間の農地の確保など、既存集落地内のルールの検討などにより良好な集落環境の形成を図ります。

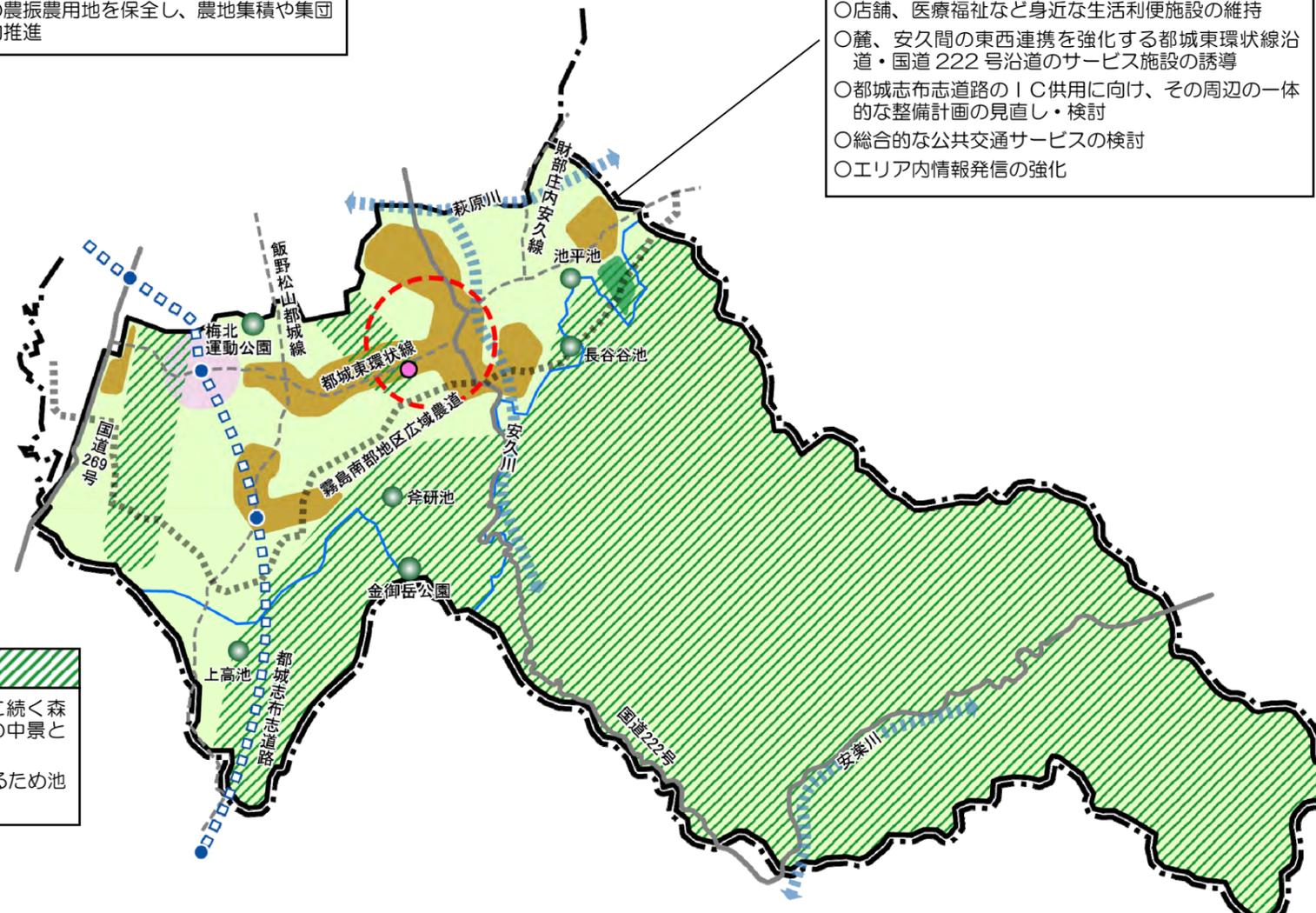
まちづくり方針図

食料生産ゾーン
 ○用途地域外の農振農用地を保全し、農地集積や集団営農の積極的推進

地域生活拠点ゾーン（中郷中学校周辺）
 ○店舗、医療福祉など身近な生活利便施設の維持
 ○麓、安久間の東西連携を強化する都城東環状線沿道・国道222号沿道のサービス施設の誘導
 ○都城志布志道路のIC供用に向け、その周辺の一体的な整備計画の見直し・検討
 ○総合的な公共交通サービスの検討
 ○エリア内情報発信の強化

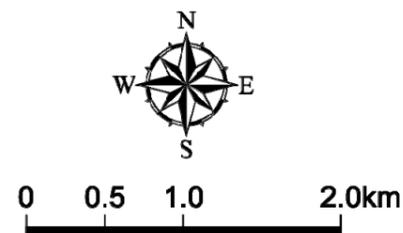
田園居住ゾーン
山間居住ゾーン
 ○自然や農業とのふれあいを大事にする田園居住（菜園付き住宅など）や山間居住（工房付き住宅など）の推進
 ○里山、農地の適正な管理と有効利用
 ○総合的な公共交通サービスの検討
 ○石垣・生け垣を活かした田園集落景観の保全
 ○一団のまとまりのある集落地における生活サービス施設の維持

森林ゾーン
 ○金御岳を含み地域東部に広がる鱈塚山系に続く森林及び梅北川両岸に連続する市街地からの中景となるみどりの保全
 ○安久川や梅北川の清流、池平池など点在するため池の保全



産業・物流ゾーン
 ○都城志布志道路のIC周辺を中心に産業施設の立地誘導
 ○農業政策と連携した土地利用の規制

- 行政界
- 都市計画区域
- 用途地域
- 地域界
- 地区市民センター
- 幹線系道路網



人間活動ゾーン	都市型	産業・物流ゾーン
	自然共生型	田園居住ゾーン 山間居住ゾーン
みどりのゾーン （郊外開発を抑制するゾーン）		食料生産ゾーン 森林ゾーン
	その他	水辺のアメニティ空間整備、河岸段丘の保全